



# ゆめ通信

2018.5.1. No.98

発行 日本養豚事業協同組合

〒104-0033 東京都中央区新川2-1-10  
八重洲早川第2ビル6階

TEL.03-6262-8990 FAX.03-6262-8991

## 第17回通常総会開催

専務理事 矢嶋 隆次

2月16日ホテルJALシティ田町・東京において、第17回通常総会を開催しました。総会出席者総数は119名で前回は20余名下回りましたが、議決権数421票に対し、出席扱い総数（出席者、委任状および書面議決書提出含む）は252票で、定款で定められた定足数211票を41票超え、総会は成立いたしました。

冒頭の挨拶で松村理事長は、任期が2年目に入った第17期支部セミナーで対話重視のセミナーを実行してきたこと、豚事協があることで飼料の購入価格が安くなっていること、口銭率を低くした養豚用資材・機材の廉価供給で組合員に貢献していることを再認識して頂きたいこと、TPPが漂流したことでもそこそこの高豚価が続いてきましたが長続きはしないことを肝に銘じて、組合員は更なるコストダウンを目指さなければならないこと、また組合員のための豚事協であると同時に、組合員が協力をしなければ豚事協の組織は維持できないことを強調されました。

決算内容としては、事業利益（経常利益）は38,666千円となり、剰余金処分案で30,000千円の利用分量配当が認められましたが、13期より5期連続でこの配当金額を維持できることとなりました。ただ次期繰越剰余金は11,938千円（0.7%）となり、15期に続く低水準です。皆様の協力を得て来期は利用分量配当30,000千円を維持すると同時に、次期繰越剰余金も15,000千円超を計上したいものです。飼料の購入をはじめとして、共同購入事業に対し組合員の皆様のご理解を賜り、ご協力をお願いいたします。

豚事協の大切な役割の1つに教育情報事業があります。17期も支部セミナー、Topigs研究会などに加え、第2期豚事協若手経営者育成塾を立ち上げ、現在36名（1期生14名・2期生22名）の塾生が勉強中です。

共同購入事業の混合飼料の中にはミネラル専用飼料の「ゆめマミーA」「ゆめマミーB」があります。ゆめマミーAはカビ毒対策をしている割に廉価です。その他にゆめアシッド、塩酸L-リジンなどがあります。リジンには塩酸リジンと硫酸リジンがありますが、廉価なリジンには硫酸リジンが多いと思いますが、豚事協の「塩酸L-リジン」は人気の高い『あすか』社の商品です。脱臭剤は経営には直接プラスにならない商品ではありますが、環境整備には欠かせません。皆様のご認識を新たにしてこれらの商品をご利用いただければ幸いです。

また利用分量配当がありますので、豚事協の取扱商品は「共同購入事業・ご利用の手引き」に記載の価格より結果としてお安くなっています。

役員改選では前期の理事・監事15名全員が再任されましたが、菅谷守氏が一身上の都合で副理事長退任を申し出たことにより、後任には山本孝徳氏が選任されました。



役員一同（前列左から：矢嶋専務、栗木副理事長、志澤顧問、松村理事長、稲吉顧問、菅谷理事、後列左から：丹尾監事、浅野理事、山本副理事長、田中理事、後藤理事、竹延 哲治理事、我那覇理事）

## ＜第17回通常総会・記念講演＞

# 海外の養豚の動向が国内の養豚に及ぼす影響について

有限会社ブリッジインターナショナル  
代表取締役 高橋 寛



我が国の豚肉の輸入はほぼ100%コンビネーションで入ってきている。最近登場してきた強いコンビの相方となるイベリコ産やマンガリッツァ産もこの関税で輸入されている。来年には日欧EPAで関税が2.2%になるので、コンビ関税は11.53円が入ってくることになる。

一般的にはイベリコはどんぐりを食べている豚というイメージが強いと思うが、実際には9割以上はどんぐりを食べていない。イベリコ・デ・ベジョータという銘柄がどんぐり放牧豚で、天然飼料とともに穀物が補完飼料として与えられた放牧肥育豚がイベリコ・デ・セボ・デ・カンボ、日本で流通しているイベリコ豚の大部分はイベリコ・デ・デボという放牧せずに穀物肥育した豚である。

日本の豚肉の統計品目番号は1つだけなので、輸

入されているイベリコ豚の内訳は一切統計には出てこない。コンビネーションで入ってきているため、実際はイベリコといって、放牧豚でないものが入ってくる。つまりこれが日本の銘柄豚の脅威になってきつつあるというふうに考えている。私は従量税が70円くらいになるまではコンビネーションを組んで日本に輸入されてくるのではないかと考えている。

コストダウンと品質向上への努力が今後の肝になる。海外や国内の情報への気配りや、マーケットのニーズをしっかり掴むことが大事である。日本の養豚産業はまだまだ強い。今後補助金は減る、ヨーロッパ、アメリカ、カナダからの攻勢が益々強くなっていく、こういったことを考えると今からでも一生懸命、コストダウンと品質向上への努力をやっていく必要がある、ここに尽きると考えている。

# 国内の豚肉価格動向と今後の方向性について

株式会社東京ミートカンパニー  
代表取締役 落合 恵一



養豚のピッグサイクルがあるように、実は相場についても、ピッグサイクルがある。

1月は昨今秋口よりも相場が軟調な時期になっている。正月明けから成人の日の三連休がらみもあり生産頭数が増えて市場の上場頭数が増えることと、正月の商品反動もあって、秋以上に例年相場が冷え込んでいる。2月は1月より相場が下がったのは過去1回程度。生産頭数の減少もあり1月より高い相場になる。3月は会社決算があるということで、下旬に非常に相場が下がる時期が多々ある。4月はゴールデンウィークのケアで、一気に相場が動いてくる時期である。地方に人が流れるときに東京市場と群馬市場で100円ほど格差が開いたときがあった

が、昨今は地方から東京への参入の買参が増えており、地域格差は出にくくなっている。5月には段々と出荷減のピークが始まるが、相場は本格的に上昇気流となり、6～7月が一年で一番高値のピークになる。8月は通常相場が高い時期であるが、気象現象によって生産頭数が増えれば相場は下がるということが懸念される。9月中旬以降から本格的に相場が下がってくるのが例年であったが、平成24年以降非常に高止まりしており、400円台になることがあまりなくなった。11月下旬から12月の手当てが始まり、12月は本格的な年末手当てで、高値のピークがやってくる。

これが相場のピッグサイクルである。 (東野)

## 豚事協若手経営者育成塾第2期第2講座開催

豚事協若手経営者育成塾第2期第2講座は、3月13日(火)～14日(水)芝パークビルB館地下1F(AP浜松町Nルーム)で開催されました。冒頭、稲吉弘之塾長より我が国の大手経営と中小経営の養豚経営状況差異について具体的な数値を上げながら塾生の皆さんに披露され、大小を問わず経営にしっかり根付くことを助言され、豚事協若手経営者育成塾では懇親を深め情報交換を活発に行って有意義に過ごしてほしい旨の挨拶がなされました。

「数字で把握する養豚産業」と題して(株)アニマル・メディア社専務取締役岩田寛史氏より10個の数字を使い養豚業界になくてはならない指標の解説がなされました。内外の畜肉の生産・消費動向を自給率の低下の問題を提起しながら、多面からとらえた情報を講義され、畜産物、飼料、飼料要求率、環境問題にも触れキーとなる数字を示しながら分かり易く解説されました。

「生産データの経営への活用術」と題してマックプランニング代表熊谷隆氏のパソコンを使つての講義がなされました。ペースが速くついていくのに苦労された塾生もあり、養豚経営に必要な記録の取り方やデータ分析の仕方等、密度の高い解説がなされました。特に繁殖面・肉豚生産面から見た養豚の収益構造が、積み上げられたデータを基に解析できる事を示された講義でありました。

「海外の養豚事情」と題しての(有)ロッセ農場代表取締役社長栗木貢男氏の講義では、冒頭、現場・現物・現実を重視する三現主義を説かれ、特に現場に基づいた儲かるビジネスモデルを考え、コストを知ることが大事と力説されました。現場の変動が利益にどう影響するのか常にシミュレートすることも重要であり、1母豚当たりの労働装備コストの把握も必要であること、さらに(有)ロッセ農場の繁殖部門と肥育部門とを分けた事業計画の立案の仕方に塾生の皆さんは真剣に聞き入っていました。

「臭気問題の実際と対応」と題して(有)村上畜産代表取締役黒濱武仁氏より、環境問題について、規制される法令特に都道府県及び市町村の規制への対応と

地域住民への養豚の臭気問題への対応の難しさが披露されました。具体的な測定結果を踏まえた養豚場の臭気物質、拡散度合が解説され、自農場の法的な位置付けや立地条件の把握の必要性さらには対策目標の設置等の指標が示され、質疑応答でも多くの質問がなされ関心度合いの高さが伺えた講義となりました。

「養豚のバイオセキュリティ」と題した(有)サミットベテリナリーサービス獣医師石関紗代子氏よりの講義では、ピッグフローの基本、バイオセキュリティ、第1期で築いたビジネスモデルの解説が行われました。まず、ピッグフローでは好ましい生産システムを描き実践することが語られ、第二のバイオセキュリティでは①病原体の排除、②疾病コントロール、③病原体の封じ込めの三つの目的が詳細に説明され、四つのバイオセキュリティの原則①分離、②洗浄・消毒・乾燥、③動線管理、④文書と記録の重要性と自農場の防疫レベルを知ることの重要性が併せて解説されました。

第三のビジネスモデルでは、26ページにわたる内容を養豚経営の共通の重要項目である①病気と戦わない養豚を目指す、②飼料・栄養にもっと深く関わる、③施設・設備はその時点の最新情報を基に、④環境対策は経営継続に不可欠、⑤週休2日制の採用の五つの重要なポイントが詳細に解説されました。

さらに、グループシステムの長短について、①作業が集中化し管理頭数が増大する、②1ロットの頭数が増大する、③正確な日齢・成績管理ができる、④業務協調ができる長所と、一方、①施設に余裕が必要、②移行期の離乳日齢のばらつき、③正常グループからの逸脱母豚の管理が大変等の短所の紹介がなされました。滑らかな語り口にポイントを的確に指摘した塾生には分かり易い講義となりました。

次回7月10日(火)～11日(水)の第3講座では1日目に企業の存続が社会的に問題とされている事業継承の講義をオープンで行うことと、2日目はリーダーズコミュニケーションの講義が行われることが紹介され、第2講座が終了いたしました。(山田)



Topics

# 馴致の基本①

有限会社サミットベテリナリーサービス  
石関 紗代子

「遺伝的能力の優れている繁殖候補豚を購入したが、自農場へ導入した後に健康状態を崩してしまい結局使えなくなってしまった…」こんな話を聞くことがあります。原因は一体何でしょうか？肺炎など感染症によるものであったとしたら、それは馴致（じゅんち）がうまくいっていなかった可能性があります。

特に疾病が少なく衛生レベルの高い種豚場から種豚を導入した場合に、自農場にすでに存在している病原体に感染して症状が重篤化してしまい、深刻な健康被害を受けてしまう場合があるのです。

高いお金を払って購入した優秀な種豚に、自農場で元気に活躍してもらうために、馴致の基本について、前・後編でおさらいしていきましょう。前編の今回は、馴致の目的や意義について解説したいと思います。馴致について理解している人も、知識があやふやな人も、これを機に再確認しましょう。

## 馴致にも種類がある！

馴致という言葉をごさん一度は耳にしたことがあると思います。その内容について考えるとき、まずは馴致の目的をはっきりさせる必要があります。というのも、馴致と呼ばれる方法には、繁殖候補豚の導入時に行う馴致、哺乳子豚の大腸菌性下痢予防のために行う馴致、そして、豚流行性下痢（PED）など特定の疾病に対する免疫付与のために行う馴致などがあり、それぞれ対象となる豚も、方法も、全く異なるからです。まずはこれらを混同せず、別のものだと理解する必要があります。

このコーナーでは冒頭にお話ししたように、良い種豚を自農場で活かすための管理方法を解説することを目的としていますので、「繁殖候補豚の導入時に行う馴致」に焦点を当てて、以降の話を進めていきたいと思います。

## 繁殖候補豚の導入時に行う馴致

### 1. 目的は候補豚と母豚を病気から守ること

繁殖候補豚を導入する際に行う馴致は、自農場に既に存在する病気に対する免疫を、事前に付与したうえで繁殖候補豚を繁殖豚群に導入することを目的として行います。そうすることで、導入する候補豚自身を病気から守るだけでなく、自農場にすでにいる繁殖豚群を病気から守ることにもつながります。なぜならば、もしも候補豚が繁殖豚群に繰り入れられた時に病気を発症し、排菌（ウイルス排泄）を起こすと、その繁殖豚群が暴露される病原体の量が多くなるため、既存の繁殖豚群にも症状が発現してしまう可能性があるためです。

### 2. 広い意味ではワクチンも馴致の一つ

先ほどお話しした通り、馴致とは、自農場に既に存在する病気に対する免疫を事前に付与したうえで繁殖候補豚を繁殖豚群に導入するための方法です。ワクチンもある病気に対する免疫を付与させるためのものですから、ワクチン接種も広義で言えば馴致の一つです。自農場に存在している病気の種類や状況に応じて、どの病気に対する免疫付与を、どのような方法で行うのかを検討し、ワクチンを組み合わせながら最適な馴致プログラムを作成していきます。

### 3. 感染後の回復と免疫付与確認までが馴致

馴致プログラムには、回復期間を含むべきです。農場内の材料（糞など）を使用する場合も、ワクチンを使用する場合にも、病原体に感染させることがすべてではありません。病原体に感染させた後、その病原体を排泄しない状態まで回復させ、免疫が付与された状態を確認して初めて、馴致が完了したと言えます。ここで大切なことは、馴致は感覚を頼りに行うものではなく、科学的根拠に基づいた方法で計画的に行われなければならないということです。

## PRRS対策としての繁殖候補豚導入時の馴致

### 1. PRRS陽性農場ではPRRS馴致が重要

もし自農場が豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）陽性農場の場合、PRRSに対する免疫付与が、候補豚に対する馴致の大きな目的のひとつになります。馴致プログラムは、PRRSの状況を検査によって調べたうえで、その結果を考慮して作成されなければなりません。その理由は、PRRSの繁殖障害によって繁殖農場に大きな経済被害をもたらされる可能性があるだけでなく、繁殖農場でのPRRSの問題は離乳子豚や肥育豚での問題へとつながっていき、最終的に繁殖から肥育までの農場全体での大きな被害となってしまう可能性があるため。そしてPRRSウイルスに感染した豚の体の中で起こる免疫反応はまだわかっていないことも多く、ワクチンを打てばすべて解決、というように上手くいくとは限らないためです。

### 2. PRRS対策は上流から

PRRSの問題として、離乳以降の呼吸器症状を思い浮かべる人も多いでしょう。そしてこれは一見すると繁殖豚群とは関係が無いように見えるかもしれませんが、しかし、その原因が繁殖豚群にある場合もあります。

繁殖豚群が原因で離乳以降のPRRSが問題になっている場合、それは、分娩舎で母豚から子豚へのPRRSウイルスの垂直感染が起きている場合です。垂直感染が起きていると、離乳舎以降でいくら対策を行ったとしても、すでに子豚がウイルスを持った状態で離乳されてくるため、状況の改善はなかなか見込めません。

この場合の解決策は、母豚の免疫を安定化させることです。

### 3. 繁殖豚群の免疫安定化

繁殖豚群の免疫安定化とは、母豚から子豚への垂直感染が無い状態を指します。つまり繁殖豚群にウイルスを排泄している豚がいない状態です。この免疫安定化状態を達成するために最も重要な作業が、馴致です。馴致によって一度PRRSウイルス（ワクチン株または野外株）に感染し回復して、免疫を獲得した豚を既存の繁殖豚群に繰り入れていくことで、結果として既存の繁殖豚群が免疫を獲得した豚で揃えられていくことになります。

### 4. 肥育豚のPRRS対策の第一歩

PRRS陽性農場ではあるけれど、すでに母豚から子豚への垂直感染はなく、離乳後のピッグフローの問題などで離乳以降のPRRSウイルス感染が慢性化している、というケースももちろん多く見られます。繁殖豚群の免疫安定状態が維持できていれば離乳以降の対策に集中して取り組むことができますが、少なくとも繁殖豚群の免疫安定化が達成できていなければ、いつ垂直感染を受けてPRRSウイルスを保有した子豚が導入されるかわかりませんので、結局何が良くて何が悪かったのかわからなくなってしまうため、その先の対策に進むことが難しくなってきます。

つまり、繁殖候補豚に対する馴致は、その農場のPRRS対策の第一歩であるといえます。

### まとめ

馴致には目的によって様々な方法があること、そして馴致には感染だけではなくその後の回復と免疫付与の確認までを含むということ、特にPRRS陽性農場の場合にはPRRS対策の繁殖候補豚用馴致プログラムを立てることが大切だということをお話してきました。

きちんと免疫を獲得した候補豚を繁殖豚群に繰り入れていくことは、PRRSだけではなく他の疾病に対しても、繁殖豚群の免疫状態を安定させ、疾病発症のリスクを最小に抑えることにつながります。

今回は、馴致を実施する場合の具体的な方法について解説します。



ある農場に外部導入された繁殖候補豚。繁殖候補豚に対して適切なプログラムで馴致を行うことで、候補豚自身だけでなく繁殖豚群全体の疾病リスクを最小にすることができる

**Dr. 伊東の  
ランダム  
シンキング**

## 第六回 「感動を与えるアスリート」 について考える

**伊東 正吾**

今年、韓国で開催された平昌（ピョンチャン）冬季オリンピックでは、日本選手の頑張りが目立ち、連日、心打つ感動的シーンが多く見られました。メダル獲得の有無にかかわらず、目の前の競技と正面から真摯に向き合い全力で挑む姿に心が熱くなり、感銘を受けるだけでなく日本人として誇らしい思いをいただき、さらには各アスリートの背景なども知ること、思わず涙することも多かったと思います。

代表選手が活躍する姿をテレビで観戦しながら受けた高揚感と、片や国内で同時発生している政治と行政や相撲協会のドタバタ騒動などを横目で見るにつけ、この真逆の出来事との落差はいったい何なのだろうと思わざるを得ませんでした。

全ての競技・選手に言及はできませんので、女子スピードスケートの小平奈緒選手と、男子フィギュアスケートで五輪二連覇を66年ぶりに果たした羽生結弦選手にスポットライトを当て、感動の根源を考えてみます。

**小平奈緒**選手は、前回のソチ五輪では下馬評は高くても臨んだ成績に達せず悔し涙にくれた時期がありました。その後、一念発起して単身オランダへスケート留学して成長し、着実に世界の中で実績を残しました。こうなると周囲からの期待が大きくなり逆にプレッシャーとなりますが、それすら集中力に換えて臨み、500mで五輪新記録の金メダル、そして1000mでも銀メダルを獲得しました。見事！と言うのみです。さらに、競技以上に評されたのは勝利に奢ることなく冷静沈着で、他の競技者への細やかな配慮を示し、また敗者となったライバルにはそっと寄り添い労わるなど、これぞ心技一体の真の勝利

者という姿を示してくれました。同じ日本人として、誇らしく思えた部分です。

小平奈緒さんの成果と感動的振る舞いの根源を勝手に推測すると、そのカギは彼女が発した「私の人生は人に恵まれている」の言葉に行き着くように思います。

今回の成果は本人の能力が最大要因ですが、家族の存在はもちろん、自ら望むコーチの元で指導を受けるために特別な入学制度のない国立信州大学に努力して進学したこと、大学の同期でライバルの友人や世界で競う中で得た最強のライバルでもある親友との出会い、また、成果よりも彼女の夢を理解して経済的・精神的支援をしてくれる職場環境と巡り合うなど、多くの要因が関与しています。このような中で最大のポイントは、彼女が自分の能力に過信することなく常に謙虚で周囲への感謝の念を強く持ち、原点である競技を真摯に愛し努力し続けたことだと思います。だからこそ、すべての力ベクトルが加速度的に一方向に束ねられ、栄光のゴールに届いたのではないかと思います。そして、その純粋な姿勢こそが掛け値なしに周囲及び日本国民の胸を熱くし、涙させた本質ではないかと考えました。

**羽生結弦**選手は前回のソチ五輪で金メダルを獲得し、それ以前から実績を残していたことから絶対王者として君臨していました。したがって五輪連覇の確率が高い状況でしたが、五輪の約3ヵ月前の時期に足首をひどく痛め、練習すらできない状態に陥ったため本格的な練習再開は五輪直前と、まさに絶体絶命の窮地に立ちました。どう考えても本人はもとより周囲は大きな不安と焦りに襲われ、極度のプレ



ッシャーに押しつぶされかねない状況であったと思いますが、彼やコーチ陣は冷静かつ綿密な計画を立て、ぶっつけ本番の状況の中で見事なスケーティングと高い芸術性を披露し、まるで映画やドラマのような展開でオリンピック2連覇を成し遂げました。

羽生結弦選手は2歳の頃から喘息に悩まされ、今でも苦しんでいるようです。また、幼少期にはいじめなどを経験したようですが、常に目標と希望を持ち、家族や国内外のコーチ・指導者及び多くの友人知人に支援される中で、私利私欲ではない真摯な心境で競技に立ち向かってきたことが、前人未達の境地に到達した大きな要因だろうと思います。

彼が素晴らしいのは、18歳から全日本選手権を5連覇し20歳でソチ五輪金メダリストとなりましたが、彼は決して奢らず、「羽生結弦の神対応」と言われるほどの態度で振る舞ってきた点です。輝かしい成果を得てもそこに安住することなく更なる挑戦を続け、また、分け隔てなく周囲に細心の心遣いができる、すばらしい人間性を構築してきたことは感動的です。彼自身が仙台市出身で東日本大震災時には大変な局面に遭遇したとは言え、常に被災者の皆さんのことを思い、住民の方と地域の復興を心底から願って言葉を発し活動していることは、なかなかできることではありません。どれだけ多くの被災者が勇気付けられているか、そして日本国民の心を鼓舞し癒しを与えてくれているか計り知れません。本当に素晴ら

しく、頭が下がります。拍手喝采！です。

スポーツでは「勝負は時の運」と言われるように、本人が真摯に努力したからと言って全ての選手が望んだ結果を手に出るほど甘くなく、悔し涙を流して終わるケースの方が多いのも事実です。しかし、今回の冬季オリンピックで活躍した二人の選手とその周辺人物を介して明確に見えてくるものがあるように思います。それは、物事に対する純粋さと真摯な努力が、観戦する人の心を問答無用で揺り動かし、感動・感銘を与えるということです。そして、そのような場合には必ず献身的な愛情と行動が存在するということです。

最近の一般社会では、表面からは窺い知れない欲望と、悪い意味での付度が複雑に絡み合い、実直に生きている人たちの中には言いようのない「やるせなさ」や「閉塞感」が漂っているように感じます。このような事態は社会の健全な発展を阻害することになり、事は重大です。今一度、人との融和を貴ぶ国民性の素晴らしさを再評価するとともに、他人への思いやりを大切に、良い意味での付度ができる日本人としての原点に立ち返る必要があると思います。

その意味からも、今回の小平選手や羽生選手の活躍やその思いと、背景にある人間関係を知ることは、私達がどのような心持で日々の生活と向き合うべきかという根本的な部分に対し、極めて有益な示唆を与えてくれているような気がします。



500mレース終了後に最大のライバルで親友の李相花（イサンファ）をいたわりながら観衆に応える小平奈緒選手の姿に韓国国民も最大限の賛辞を贈る。



不屈の闘志と真摯な姿勢で自信を見事に表現し、結果として最高の成果を獲得した羽生結弦選手。年齢からは想像できない高い境地に達した求道者の風格さえ漂わせる。

本人の画は肖像権および著作権の関係から利用できませんので、このイラストを介してイメージしてください。

本当に

## 稲吉顧問お料理教室始めました！

稲吉顧問の著書「私の養豚人生」のあとがきで、「仕事に代わる余暇をどう過ごすかも大切なことだと考え、仲間と男のお料理教室を始めました」と書かれていたのをみなさん覚えていますか？「本当にお料理教室なんてやっているの？」と思っているかもしれない読者の方々を代表して、取材に行ってきました。

稲吉顧問のボーイスカウト仲間であり、地元の水産高校の教師であった田辺達己さんが定年退職後に料理教室に1年通い調理師免許を取得されたのをキッカに、「田辺さんを先生として地元の男性仲間でお料理教室をやろう！」と稲吉顧問が提案したのが始まりとのこと。奥様が病気をされたとき、またボケ防止にも良いだろうという思いから提案したそう。

田辺さんは5年ほど前に提案された時は「先生としてやるからには責任がある」と躊躇したが、しばらく経って「いつ始めるのか？」と聞かれ、そこまで言うのならOKしたそう。たまたまキッチンに立つこともあるが、レポートリーを増やしたかったという稲吉顧問。釣り好きで魚を捌くのはお手の物、日頃からお料理もよくされているという稲吉一郎さん。料理に関しては専ら素人という本田至啓さんの4人で、月に1回のペースで地元の集会センターのキッチンを借りて始めることになった。会の名前は先生である田辺さんのファーストネームをとって「たつみ会」と命名し、まずは4人でお揃いの制服を作った。

メニューは旬のものを取り入れながら都度みんなと考え、魚は田辺さんが、豚肉は稲吉顧問が、野菜

は家庭菜園をしている一郎さんが調達する。夕方4時くらいに集合し作り始め、出来上がる時間の目処がたったら、奥様方に連絡し集合をかける。そしてみんなで食事をし、後片付けまでしっかりやるというのがこの会のルール。作った方がいいが後片付けは奥様方がやるということになれば、喜んでくれるはずの奥様方からクレームが出かねない。そこまでやってこそその“たつみ会”だと、メンバーは口を揃える。

この日のメニューは、とんかつ、ほうれん草のおひたし、豚汁、いわしの梅肉煮、豚バラの肉巻き、じゃがいもとカボチャのサラダ、アジとツバスの刺し身。なんとも豪華。先生が役割分担し指示しながら作るのかと想像していたが、私の予想とは違い、メニューでそれぞれ自分の役割を考え、さっと作業にとりかかり、黙々と作り始める。よくよく聞いてみれば、今回は10回目とことで息が合っていることも納得です。作り始めて約一時間半後、出来上がりの目処がたつところで奥様方に連絡し集まってもらった。テーブルには所狭しとお料理が並ぶ。厚さが1.5センチもあるとんかつもキレイに揚がっていて、手作りの味噌カツソース、おひたし用のタレ、肉巻きのタレ、どれをとっても甘すぎず辛すぎずちょうど良い塩梅で、感激することしきりでした。

今回の取材は、「日頃苦勞をかけている奥様への孝行として料理を始めてみてはいかがですか？」という稲吉顧問からみなさんへのメッセージでもあるようです。  
(東野)



なんとも豪華なお料理の数々。どれも絶品でした。



(左から時計回り) 稲吉顧問、田辺達己さん、稲吉一郎さん、本田至啓さん、稲吉昌子さん、本田美津子さん、田辺文子さん（一郎さんの奥様はお休み）



## 新商品のご案内

4月から新しく取り扱いを開始した商品のご案内です。是非ご活用ください。

### デジタル豚脂肪厚計

富士平工業㈱がOEM生産で販売している脂肪厚計の取り扱いを開始します。

現在販売している米国産のリーンメーターやエニースキャンBFは、本体に不具合があった場合には本国に送り返して修理しなければならず手元に戻るまでに時間を要しますが、この商品は本体に不具合が生じた場合には重大なトラブルでない限り富士平工業㈱のサービスセンターでの修理が可能のため、短期間で済みます。

経産の母豚で第3層の脂肪を維持している豚は少ないと思いますが、第1～3脂肪層まで計測が可能です（リーンメーターは第2脂肪層まで、エニースキャンBFは第3脂肪層まで計測可）。6時間のフル充電で30時間連続使用可能（エニースキャンBFは3時間のフル充電で11時間）で、重量は70g（エニースキャンBFは173g、リーンメーターは340g）と格段に軽く、取り扱いが楽になりました。

特筆すべき点は、測定したデータが保存（999個体まで）できるので、現場で台帳に記入する手間が省けるということです。



### マキシホッパーパン

分娩舎や離乳舎で使われていたミニラウンドフィーダーが製造中止となりましたので、代替品としてマキシホッパーパンを販売します。

特徴としては、容器が半透明で餌の残量が一目で分かること、簡単に分解できるので掃除も楽で非常に衛生的であること、さまざまな仕様の床材にフックで固定することが可能であること、などが挙げられます。

また、延長ホッパーを取り付けると10kg程度容量が増加し、蓋を使うことによってエサのにおいを損ねず、湿気やホコリの侵入を防げます。

分娩舎では延長ホッパーなしで給餌、量を少なくして新鮮な飼料を給与することができ、離乳舎では延長ホッパーを取り付けることで飼料の投入回数を減らすことができるので手間が省けます。



※詳しくは「ご利用の手引き2018」でご確認ください。

## 国際養鶏養豚総合展開催のご案内

2018年5月30日～6月1日、ポートメッセなごやに於いて「国際養鶏養豚総合展」が開催されます。

養鶏・養豚経営の近代化、効率化を図ることを目的に、採卵鶏・肉養鶏・肉豚等の生産から流通に関する世界最先端かつ最新鋭の施設・機械器具・資材・技術が一堂に展示される養鶏・養豚に関する展示会としては日本最大の展示会です。日本養豚事業協同組合も協賛しています。

日 時：5月30日（水）、31日（木）、6月1日（金）  
9：00～17：00（最終日は16：00）

場 所：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）  
名古屋市港区金城ふ頭二丁目2  
名古屋駅から「あおなみ線」で24分  
「金城ふ頭駅」下車5分

入場料：300円

問合せ先：「国際養鶏養豚総合展2018」運営協議会  
TEL 03-6206-0846 FAX 03-5289-0890

内 容：

- ①施設・機械器具・資材等の展示
- ②生産の近代化や効率化を図るための特別講演会
- ③出展各社による最新情報のプレゼンテーション
- ④消費拡大のためのフードコーナー及び試食等による関連商品の提供
- ⑤児童・生徒に対する食育活動



## 豚事協の年間行事

### 理 事 会

|       |                    |
|-------|--------------------|
| 第 1 回 | 平成30年1月19日（金）（東京）  |
| 第 2 回 | 平成30年2月16日（金）（東京）  |
| 第 3 回 | 平成30年4月20日（金）（東京）  |
| 第 4 回 | 平成30年7月20日（金）（東京）  |
| 第 5 回 | 平成30年10月19日（金）（東京） |

### 支 部 会

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| 中 部 支 部   | 平成30年5月18日（金）（名古屋） |
| 関 東 支 部   | 平成30年6月15日（金）（東京）  |
| 北 海 道 支 部 | 平成30年7月6日（金）（札幌）   |
| 東 北 支 部   | 平成30年8月24日（金）（仙台）  |
| 中 四 国 支 部 | 平成30年9月21日（金）（松山）  |
| 九 州 支 部   | 平成30年10月12日（金）（熊本） |
| 沖 縄 支 部   | 平成30年11月22日（金）（那覇） |

### 女 性 部

第11回女性部セミナー ..... 平成30年7月2日（月）～3日（火）（東京）

### そ の 他

海外視察研修 ..... 平成30年11月10日～17日（オランダ・ドイツ）

※青字は平成30年5月1日以降の行事となります。都合によっては変更・中止となる可能性もありますこと、ご了承下さい。

### 編 集 後 記

\*\*\*

お香ははるか昔、香木としてシルクロードを渡って中国から日本に伝わってきた物だそうで、インドから東へ伝わったものは固形（お香）、西へ伝わったものはオリブオイルに漬けて液体（香水）として定着したそうです。

平安時代、貴族の方々には香りを楽しむ文化がありました。原料を配合し、自らお香を作ることを薫物合わせといいますが、いかに良い香りを作るかで競争したり、香りについて語ったりする事が当時の貴族たちのトレンドだったようです。インドから中国を通り最後に伝わった日本は、お香の技術を磨きあげました。お線香で真ん中に芯を入れずに線香のみで独立しているものは、日本の物だけだそうです。好きな香りを空間へ放つ空薫物、着物に薫しめる薫衣香など、それぞれ好きな香りをまとい、生活をするのが最高のオシャレな平安時代。今でこそ香水がありますが、電気すらない当時、着物に匂いを焚き染めるのはとても時間がかかった事と思います。

多くの香水は、お香のプロの手にかかる3か月でお香にする事が出来るとの事で、海外ブランドの香水をお香にして欲しいという依頼が良くあるようです。私も自宅で空薫物に挑戦しました。香炉に灰を満たし、燻らせた香炭団を灰に埋め、火穴を灰の頂上に作り、銀葉というプレバートみたいな物を火穴の上に乗せ、さらにその上に練香を乗せます。最初はほんのりいい香りが漂っていましたが、我が家は開放的な平安物件とは違い、閉鎖的な極小住宅。むせ返るような伽羅の香りを部屋から追い出しながら、次にお香を楽しむのはもっと広い所に引っ越してからにしようと思う決心しました。（久）